

新潟地方交通共済協同組合

企業概要

業態：交通共済事業

職員数：20名

代表：理事長 川崎 敬文

所在地：新潟市中央区新光町6-4

HP：www.skk-truck.jp



健康経営に取り組んだきっかけ

以前から、健診受診から再検査、治療のフォロー体制を構築しており社員の健康をサポートしておりました。協会けんぽから提供された「健康職場チャート」を見ると、同業種企業117社中112位という結果に驚くとともに、血圧リスクが異常に高い状況にショックを受けました。担当者から専務理事に健康リスクの状況を見せながら話をしました。その結果、問題意識を持って事業所を挙げて取り組もうと、これまで希望者のみの参加だったおすすすめプランに全員参加することになりました。

取組内容



→
職員も書いて取り組む
血圧手帳に個人目標



1日1回以上血圧測定をする

メモ用紙に血圧を毎日記入するよう指示しても継続しませんが、各個人用の血圧管理ノートがあったおかげで継続して測定できました。

また、スタートの際に「血圧手帳は終了時点で回収し、保健師さんにみてもらうからね」と周知をしたことで、継続して計測することにつながったかもしれません。

できるだけ階段を使う

全員共通で取り組むメニューとして設定したことで、ほぼ全員が階段を使用するようになりました。3階の職場なので普段から階段を使っています。

工夫したこと



毎朝朝礼があるので、定期的に声掛けを行いました。声掛けをしないとではチャレンジの継続性が異なると実感しました。



記入率やチャレンジ状況を独自に集計し、担当者が取り組み状況を確認しながら進めました。

取組の成果

職員の話の中で血圧のことが話題に上がることも見受けられ、日常生活のいろんなことが血圧の値に現れることが意識できるようになりました。健診後、ジムに通い始め数値が改善した職員もいます。また、職員の3分の2は自宅に血圧計を持っており自宅でも継続して測る人もいます。自宅で計測することにより、家族も一緒に継続して測定する人もおり、継続して行うことが周辺へ影響することが実証されました。